

青塚古墳（犬山市）

青塚古墳は名鉄楽田駅から西へ徒歩で30分程行った場所に所在する



青塚古墳史跡公園として保存・整備されている



愛知県内で二番目に大きい4世紀中頃築造の前方部2段、後円部3段築成の前方後円墳

青塚古墳史跡公園総合案内板

国指定史跡 青塚古墳

墳長 123m
墳形 前方後円墳
時期 4世紀中頃（古墳時代前期）

青塚古墳は4世紀中頃（古墳時代前期）に造られた愛知県で2番目に大きい^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳です。標高31mの台地の端にあり、古墳の西側には平野が広がります。古墳は、低い基壇^{こうえんぶ}の上に後円部が3段、前方部が2段に築かれています。段ごとの平坦面には、赤く塗られた壺形埴輪^{つぼがたはにわ}が並び、前方部の頂上には、方形壇を囲んで円筒埴輪^{えんとうはにわ}、朝顔形埴輪^{あさがおがたはにわ}が並んでいました。また、古墳全体は大量の河原石で覆われていました。古墳の周りには周濠^{しゅうごう}（堀）と外堤が巡り、周濠を横切って古墳に向かう通路（陸橋部）^{りっきょうぶ}がありました。

1584（天正12）年の小牧長久手の戦いの際には、秀吉方^{とりで}の砦として利用されたとも伝えられます。



史跡指定範囲（国史跡指定 1983年2月8日）



▲ 整備前の青塚古墳（1965年頃）



▲ 壺形埴輪が出土した様子（1996年調査時）



▲ 出土した壺形埴輪

平成31年3月 犬山市教育委員会

古墳の周りには周濠(堀)と外堤が巡り、周濠を横切って古墳に向かう通路(陸橋部)がある/周囲には耳塚古墳・鳥塚古墳が所在するようだが・・・



南東側から見たところ/美しいフォルムをしている

 [video](#)



南側から見たところ/段築上に赤色顔料で赤彩された壺型埴輪(レプリカ)が巡っている

[video](#)



戦国時代の小牧長久手の戦いの際に豊臣秀吉陣営の砦として使用されたことから、別名「青塚砦」とも呼ばれるようだ

[video](#)



周囲の砂利敷きは排水の為か・・・



西側から見たところ

[video](#)



余りにも綺麗に整備され過ぎている気もするが・・・

[video](#)



後円部を後ろから見たところ



近づいて見たところ

 [video](#)



北東側から見たところ

[video](#)



ここは烏塚古墳の辺り



小詞が祀られていた

 video



こちらは耳塚古墳と記されていた辺り

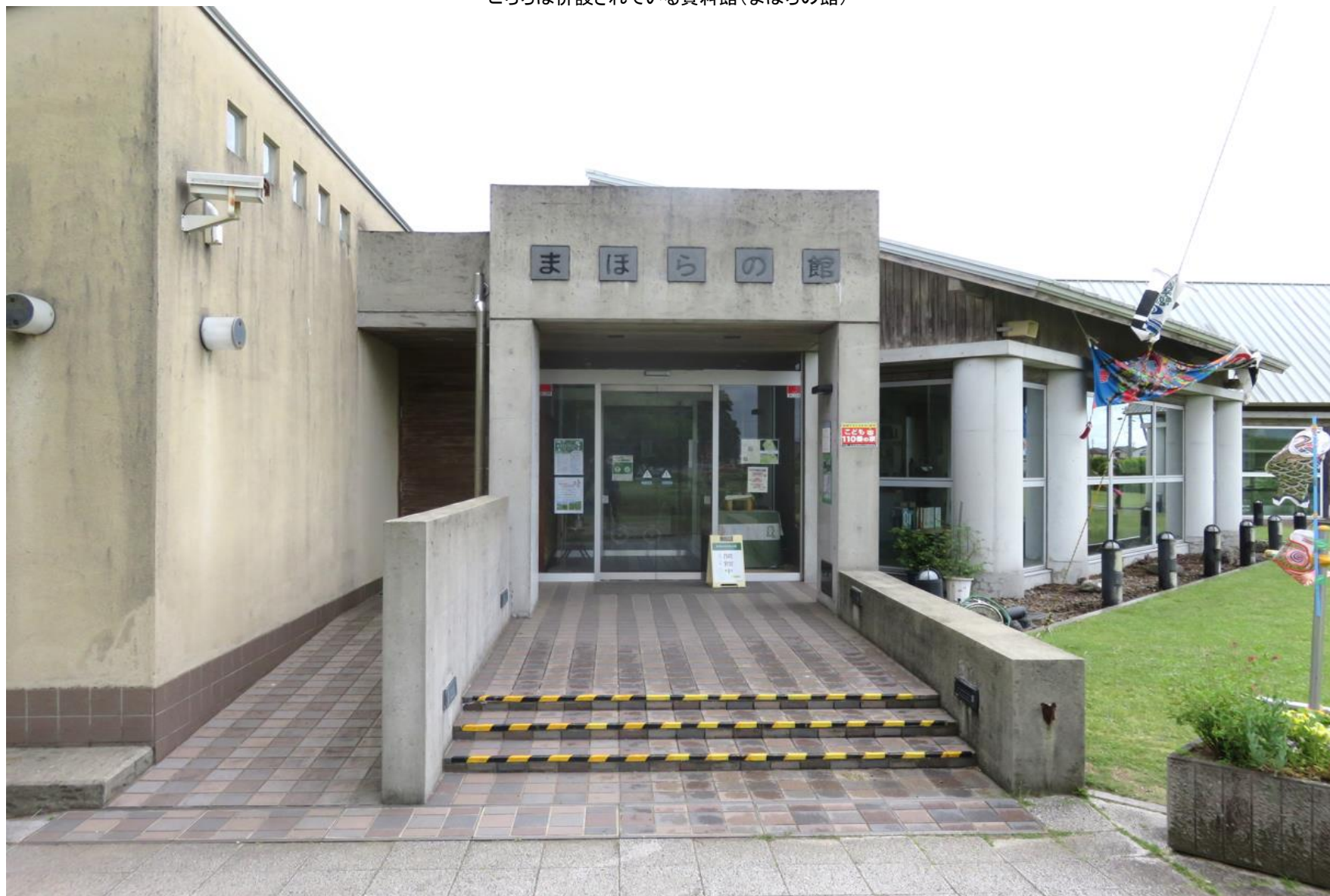
[video](#)



この辺りにあったのか・・・/資料を確認すると、墳丘は消滅しているようだ

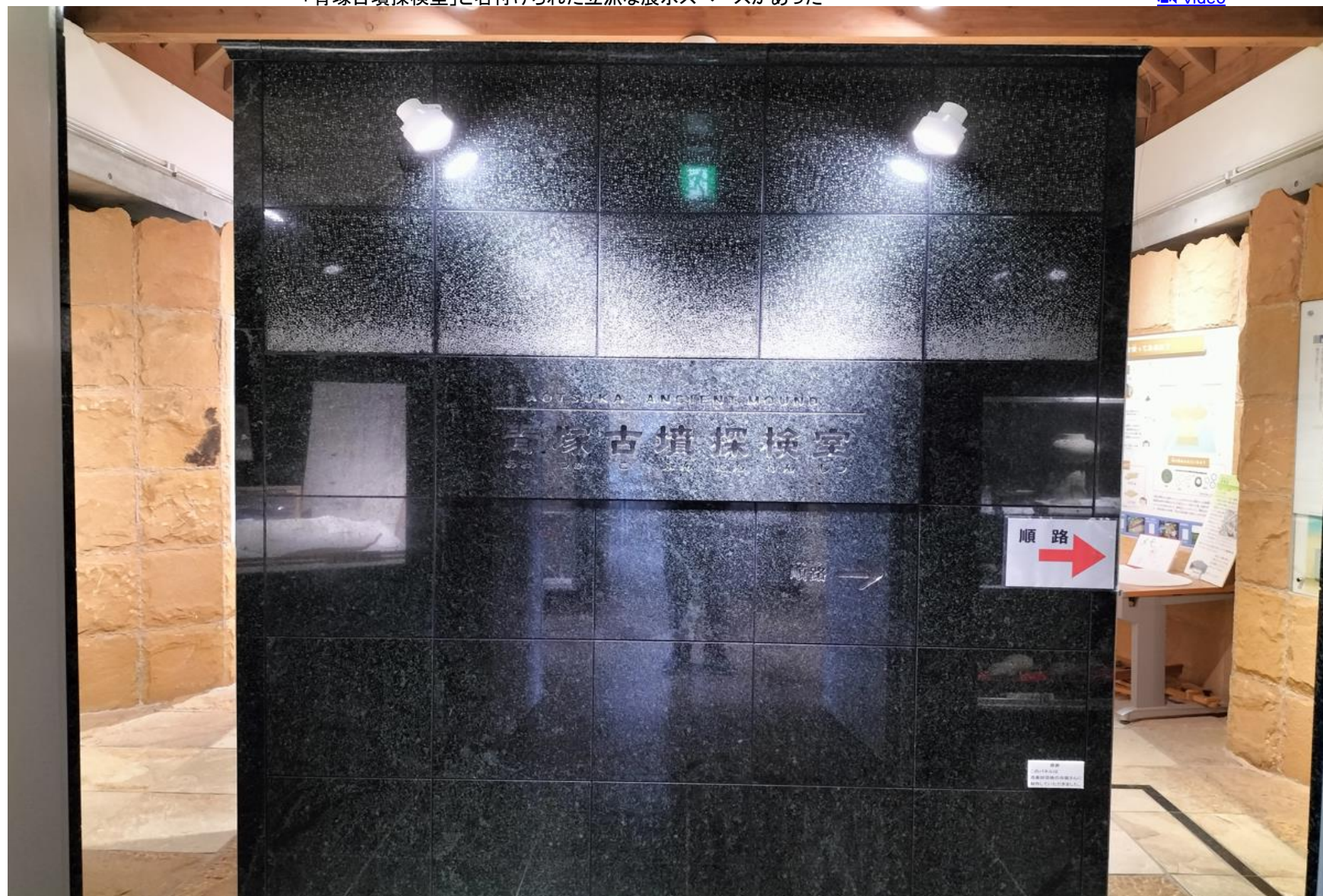


こちらは併設されている資料館(まほらの館)



「青塚古墳探検室」と名付けられた立派な展示スペースがあった

[video](#)



青塚古墳出土の壺形埴輪・円筒埴輪が展示されていた





前方部前面の基石列と壺埴輪



前方部西側下段の基石列と壺埴輪

青塚古墳では、各段に壺の形をした埴輪が墳丘を取り巻くようにして並べられていました。
また、すべての埴輪には赤色の顔料が塗られており、埴輪は約2m間隔で並べられていました。
発掘された壺形埴輪には2種類あり、長胴の体部をもつものと、下膨れの体部をもつものがあります。



つぼがたはに
壺形埴

円筒埴輪は前方部墳頂にある方形の低墳丘(方形壇状遺構)の周囲に巡っていたらしい



方形壇状遺構(南側より)



円筒埴輪列と石敷き
(壇状遺構南側)

前方部頂には東西9m、南北7m、高さが約1m弱の方形の
低墳丘(方形壇状遺構)が存在します。遺構の周囲には円筒
埴輪が巡っていました。また、遺構の東側からは祭祀用の鍬
形石製品も出土しています

通路では企画展も開催されていた



令和5年度企画展

地域に眠る文化遺産 in 楽田

～かねまつ君の集めた

「神宮寺跡」「小路遺跡」の考古資料～

はじめに

かねまつ君は現在、考古学を学ぶ大学生です。

小学生のころから地域の歴史に興味があり、楽田地区の遺跡に足を運んで、遺物を採集してきました。今回展示では、そのうちの「神宮寺跡」と「小路遺跡」にスポットを当てて紹介します。

両遺跡ともに、具体的な調査は行われていませんが、採集した資料から、両遺跡の謎に迫ります。

これは探検室に掲示されていたこの地方の古墳の編年表/邇波の地では東之宮古墳～青塚古墳～坊の塚古墳～妙感寺古墳と首長墓が続くようだ



ところで、こちらは東海西部の古墳の編年表/前方後円墳を共有した畿内とその西の地域の邪馬台国連合に対して、畿内の東の地域では前方後方墳を共有した狗奴国連合があり、その中心(狗奴国)が東海西部周辺であったとされるが、編年表を見る限りではその時期にこの地域に突出した前方後方墳が築造されている様には見えないのだが...

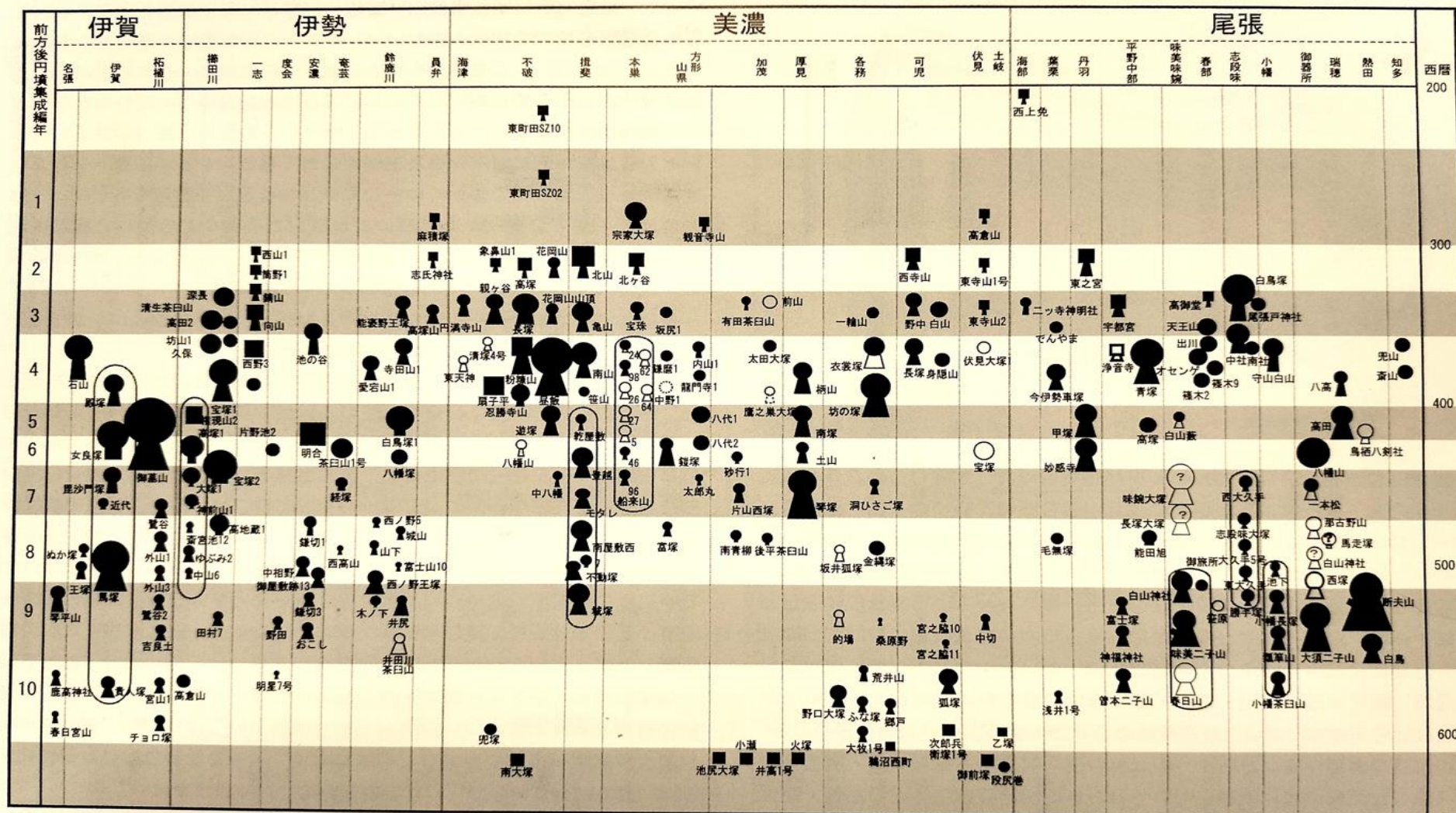


図7 東海西部における大型古墳の編年(瀬川貴文氏による、『古墳時代の考古学』2 同成社 2012)

近つ飛鳥博物館平成29年度春季特別展「東国尾張とヤマト王権～考古学からみた狗奴国と尾張連氏～」より転記

